

学びのデザインシート（授業前）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【国語／現代文B】

1. 対象 2年

大学進学希望者から就職希望者まで進路希望の異なる生徒が混在するクラスで、能力差もある。現代文の授業に対して積極的に取り組む生徒が作ってくれる授業の雰囲気を生かし、教え合いながら集団全体で本文を主体的に読んでいけるよう心掛けている。

2. 単元名「小説の構成や描写の仕方に注目して内容を的確に捉える。」（全15時間）

（夏目漱石『こころ』）

3. 単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。
思考力, 判断力, 表現力等	文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。
学びに向かう力, 人間性等	文章の構成や展開などにも注目して、興味をもって小説を読み解こうとしている。

4. 本時の目標

Kが自殺した原因を本文をもとに推理することを通して、小説の伏線に気付く。

5. 授業展開【 **本時** ・ 単元 】 ※本時または単元いずれかに○を付けてください。

<b>解決したい課題や問い</b>
Kの自殺の原因を警察官になったつもりで本文をもとに推理しよう。

考えるための材料A	考えるための材料B	考えるための材料C	考えるための材料D
・ワークシート「Kの遺書を読み解こう」 ・教科書本文	・ワークシート「現場検証をしよう」 ・教科書本文	・ワークシート「Kの性格を再確認しよう」 ・教科書本文	・ワークシート「Kの交友関係を再確認しよう」 ・教科書本文
想定される活動	想定される活動	想定される活動	想定される活動
「自分は薄志弱行でとうてい行く先の望みが…」、お嬢さんの名をわざと回避した、「もっと早く死ぬべきなのに…」が重要だと気づく。わざと回避した理由、「もっと早く」とはいつを指すのかを考える。	「この間」という語が2回書かれていることに気付く。「この間」とはいつのことか考える。	Kの「道のためには全てを犠牲にすべきものだ」という第一信条、「精進」という言葉が好きなことを思い出す。この性格から自殺の原因を考える。	Kは私と同郷であること、かなり深いことまで話し合う親友であること、Kが私を信頼しきっていたことを思い出す。お嬢さんがKに思わせぶりの態度をとっていたことに気づく。裏切りや孤独感が原因ではないかと考える。

## 対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

対話の方法 ジグソー法、10分→20分

対話や思考のプロセス

「薄志弱行だから自殺するって遺書には書かれているよ。」

「Kは精進が好きな性格だからわかる気がする。」

「うん。でも、私のことを信頼しきっていたKには裏切られたことのショックも大きかったと思う。」

「遺書の『もっと早く死ぬべきだった』っていうのがいつかなあ。」

「自殺した日に、『ふすまがこの間の晩と同じくらいあいていた』ってあるんだけど、これがたぶん教科書153ページのことだと思うんだよね。」

「本当だ！」153ページを読む。

「この時、『もう寝たのか』とか『近頃は熟睡ができるのか』って聞いているよ。この時、私が寝ていたら自殺したのかも？」

「そうかも。なんでこの夜に？」

「この日の昼間、私に『精神的に向上心のない者はばかだ』って言われてる。」

「『ばかだ。ぼくはばかだ』『覚悟ならないこともない』って言ってる。」

「死ぬ覚悟？」

「『精神的に向上心のない者はばかだ』って言われたのが相当つらかった？」

## 学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

記述

「Kの自殺は、自分が恋をして、精進の道から外れてしまったことが原因だと思う。また、私がお嬢さんに求婚したことを知り、私に裏切られたショックも大きく、そのことからくる孤独感が引き金となり、自殺をしたのではないか。」